

福島県PTA連合会



PTA ぶくしま 第 109 号

県P連活動スローガン 子と親とが 共に育つ PTA 活動を

編集：調査広報委員会 印刷：泉印刷所

日ごろよりPTA活動にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。本年度、福島県PTA連合会の会長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。



●県P連会長あいさつ

当たり前の大切さ 会員の皆様の方で

福島県PTA連合会

会長 成澤勝蔵

加えられる方には、数々の困難を乗り越えてきた姿、心を感じて頂き、各単位PTAに帰ってからの伝え広めて欲しいと思います。震災の時は、当たり前にあった物、事がなくなり大変な思いをした記憶はいまだに覚えていると思います。当たり前前の大切さに気付かされたことでしょう。最近ではPTA不要

論がネットなどで言われていますが、PTA活動がもしくなってしまうたら、どうなるでしょう？時代の変化とともにPTAに求められる事も変わってきています。しっかりとした目的をもって活動することが大切であり、地域・学校・保護者間のコミュニケーションを図り、SNS、いじめや虐待、登下校時の交通事故や声掛け事案など様々な問題に対し、時には行政を交えて問題の解決と支援を行い、会員の皆様の方で、子どもたちの健全育成に努めて参ります。

紹介 県P連 1年間の歩み

～こんな活動をしています～



6月 第1回理事会



9月 第24回母親代表懇談会



2・3月 第42回子どもの災害事故防止習字・ポスターコンクール



10月 第66回県PTA研究大会喜多方大会

共栄火災

夢を、未来を、
ずっと近くで支えたい。

つながり強化宣言！ 共栄火災



サイ吉

人々が気持ちよく毎日を暮らせるよう、安心の子カラでそっと支えるサイ。共栄火災のサイ吉です。

国際交流・国内研修報告 ～渡嘉敷島に行ってきました～

南相馬市立原町第二中学校

三年 鈴木 慧

今の渡嘉敷島は、青くすき通る海が特徴の自然に囲まれた素敵な島です。しかし、沖縄戦の際には激しい地上戦が行われ、集団自決が行われた場所でもあります。当時のことを、島の方々が涙を流しながら丁寧に話してくれました。その話を聞き、体験したことがない僕でも、戦争の悲惨さを肌で感じました。二度とこんな悲惨な戦争を僕達人間が起こさないように、責任をもって伝えていかなければならないと感じました。

また、班ごとに野外炊飯でカレーを作ったことが印象に残っています。スープカレーになったり、ご飯がカチカチだったり散々でしたが、

南相馬市立原町第三中学校

三年 櫻井 美佳

「めんそーれ。」

この言葉は、渡嘉敷島で私が最初に聞いた言葉です。「めんそーれ」とは、方言で「ようこそ」という意味だそうです。この言葉通り、私を渡嘉敷島の美しく壮大な自然と地元の人々が温かく迎えてくれました。

私の旅行気分が一変したのは、平和学習のことです。ここ渡嘉敷島では、太平洋戦争の地上戦が行われ、多くの人が集団自決を迫られました。集団自決から生き残った家族の方から当時の心境を聞くことができました。この場所ですのようなことが行われたことを知って、私はショックでした。戦争の悲惨さと戦争をしても何も生まれないという無力感を感じました。「め

苦勞して作っただけあってとてもおいしく、仲間と楽しい時間を過ごすことができました。五日間の研修で他県の生徒と打ち解けられ、最終日には別れを惜しんで、涙を流してしまいました。

この研修で戦争の悲惨さを後世に伝えていくことの大切さや仲間と交流する楽しさを学ぶことができました。本当に貴重な体験をさせていただき、感謝しています。



「めんそーれ」温かく迎えてくれた人々。そのようなことがあった中、渡嘉敷島の人々は渡嘉敷島を愛し、美しい自然を守っています。一方では、渡嘉敷島で起こった悲惨なできごとを繰り返し返さないように次の世代へ引き継いでいこうと思っています。私は渡嘉敷島の人々の思いをしっかりと受け止め、それを福島の人々に伝えていきたいと思っています。



「今からできる一歩」

前福島県PTA連合会会長

菅田 憲孝

各校でのPTA活動はいかがですか？
郡市PTA連合会や福島県PTA連合会の活動についてご存じですか？
同じ時代を生きた大人、そして子どもたち。

私たち大人は心ひとつに子どもたちの健全な成長を望んでいます。そのためには、より良い学校教育環境が必要です。その思いを実現するためにどうすれば良いか。
とは言いがたも、働く環境やそれぞれの生活環境もことなります。
みんなでやろう！と言われても、できない。という方も少なくありません。
それでも、ほんの僅かなことであれば何かできることがあるかもしれません。その積み重ねこそが子どもたちの環境を整えて

今年度は顧問として尽力して参ります。

2019年度 福島県PTA連合会行事予定表

月	日	主な行事 ○=県P、◇=東北、◆=日P
5	22日(水)	○役員会①
	4日(火)	○評議員会①(総会)
	17日(月)	小中懇談会
	17日(月)	○理事会常置委員会①
7	1日(月)	○事務局会①
	11日(水)	○役員総務合同会
	23日(火)	◆日P協議会懇談会
8	23日(金)	◆日P全国研究大会兵庫大会～24日(土)
9	7日(土)	◇日P東北ブロック研究大会南陽東置賜大会～8日(日)
	20日(金)	○郡市P母親代表者懇談会 各地区代表2名
	25日(水)	○事務局会①
10	19日(土)	○理事会常置委員会②
	20日(日)	○県P研究大会南相馬大会
2	4日(火)	○習字ポスター審査～5(水)
	10日(月)	○役員会②
	15日(土)	○習字ポスター展示～3/8(日)
	18日(火)	○評議員会②

PTA 広報紙・学校新聞コンクール ～おめでとうございます～

福島市立飯野中学校「こもれび」



こんな視点で作成しています

福島市立飯野中学校
広報委員長 三浦利恵

この度のコンクールにおきまして、最優秀賞を受賞いたしましたこと、本校広報委員会及び飯野中学校PTA一同、大きな喜びを感じております。広報紙作成の上で常に心がけていたことは、読者であるPTA会員が、興味をもって読むことや知りたいことは何かと広報委員会で話し合い、いかにそれを読んで楽しい記

事にして作成するかという点とです。

子どもたちは何を考えているか、保護者として子どもたちへ期待することは何かなど、さまざまな意見を委員会でも話し合い、アンケートなどを実施したりして記事にしています。

今後も会員の皆さまのご協力をいただき、読んで楽しいPTA広報紙を作成していきたいと思っております。

会津若松市立一箕小学校「はばたき」



こんな視点で作成しています

会津若松市立一箕小学校
広報委員長 新井田 英美子

この度のPTA広報紙コンクールにおきまして本校のPTA広報紙「はばたき」が最優秀賞を受賞できた事は大変光栄な事です。広報委員会の活動を評価して頂いた事とても嬉しく思います。また、広報紙作成にあたり協力して頂いた皆様にお礼申し上げます。広報紙作成において工夫し

た点は、PTA活動を身近に感じてもらえるように各委員会の活動の写真と活動内容を載せました。また担任紹介のページは学校の年間予定を入れたカレンダーにして各家庭で自由に書き込んで活用してもらえればと思いました。

今後も皆様に興味を持って楽しんで読んでもらえる広報紙を作成できるように取り組んで参りたいと思っております。

第54回県小中学校PTA広報紙コンクール

晴れの受賞校

第54回県小中学校PTA広報紙コンクールの審査会は4月23日、福島市の福島民友新聞社で開かれた。

県内の小中学校62校から応募があった。

審査の結果は次の通り。

◇最優秀賞

- 「はばたき」(一箕小)
- 「こもれび」(飯野中)

◇優秀賞

- 「白三だより」(白河三小)
- 「薫だより」(薫小)
- 「あげつち」(平一小)
- 「やまざくら」(裏磐梯中)

◇入選

- 「やのめ」(矢野目小)
- 「けやき」(森合小)
- 「みずはら」(水原小)
- 「和多里」(渡利小)
- 「にじ」(東和小)
- 「あぜみち」(姥堂小)
- 「ひらくぼ」(平四小)
- 「みくわば」(渡利中)
- 「あおい」(若松一中)
- 「鈴石」(本郷中)

第67回福島県PTA研究大会 南相馬大会の概要

大会主題

共に語ろう！共に学ぼう！報徳西進のいきづく南相馬で
～子どもたちの輝く未来のために～

ふるって
ご参加下さい

1. 期 日 令和元年10月20日(日)
2. 会 場 南相馬市民文化会館(ゆめはっと)、サンライフ南相馬原町第二小学校、原町第三小学校、石神第二小学校、原町第一中学校、石神中学校
3. 日 程 9:00 9:20 11:20 13:10 14:20 15:30 15:40

受付	分科会	昼食移動	全体会	記念講演	閉会
----	-----	------	-----	------	----

4. 記念講演 「共に生きる。共に育つ。」
講師 星槎名古屋中学校 校長 安部 雅昭氏
5. 分科会 (5分科会)
- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1 組織運営 | 2 研修活動 | 3 家庭教育 |
| 4 健全育成 | 5 特別支援教育 | |

令和元年度 福島県PTA連合会役員

▼会長 成澤 勝蔵 (会津若松市P連・会長)
 ▼副会長 野田 誠 (福島市P連・会長)
 平塚 康晴 (郡山市P連・会長)

▼監事 佐藤 孝治 (川俣町P連・会長)
 矢部 和秀 (岩瀬地区P連・会長)
 別府 豊 (北会津地区P連・会長)

▼母親代表理事 大須賀祐香 (県北ブロック・福島市P連)

▼理事 松谷恵理子 (県中南ブロック・岩瀬地区P連)
 渡邊みゆき (会津ブロック・会津若松市P連)
 大泉きよみ (浜ブロック・いわき市P連)
 岡田 和人 (伊達地区P連・会長)
 佐々木篤行 (安達地区P連・会長)
 森 隆義 (石川郡P連・会長)

▼事務局長理事 佐久間喜久 (田村地方P連・会長)
 安部 和幸 (西白河P連・会長)
 菊池 洋行 (東白川郡P連・会長)
 堀金 寿臣 (会津若松市P連・代表)
 佐藤 和也 (両沼地区P連・会長)
 小椋 恵司 (南会津郡P連・会長)
 佐々木 徹 (双葉郡P連事務局長)
 重巢 吉美 (県北ブロック代表)
 佐藤 和典 (県中ブロック代表)
 草野 仁 (県南ブロック代表)
 吉田 英俊 (会津ブロック代表)

▼総務部長 古川 豊 (蓬萊中学校長)
 庶務部長 高橋 正浩 (御山小学校長)
 研修部長 菅野 孝彦 (中野小学校長)
 調査広報部長 菅野 智 (平石小学校長)
 会計部長 角井 勇三 (川俣南小学校長)

安全互助会から

常日頃より、福島県PTA安全互助会に対し、ご理解とご協力をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

万が一、事故が発生したら

①学校に連絡してください。

学校の管理下外での、急激かつ偶然な、外来の事故によるけがを補償します。

※入院、通院の場合、治療期間が七日以上の場合に対象(事故日から治療終了まで七日以上。治療回数ではない)
 ※低温火傷、腱鞘炎、疲労骨折などは、急激かつ偶然な外来の事故には該当しないため対象外

※学校管理下の登下校中(自宅より校門前まで)、学校休業中の部活動でのケガは補償対象
【PTA会員のけが】
 PTA会員(含む学童)が、PTA主催・共催行事に参加している時の急激かつ偶然な外来の事故によるケガを補償します。

※入院、通院の場合、治療期間一日から対象
 ※PTA行事の資料、計画書(事故日が記載されたもの)を添付の

こと

- ・PTA奉仕作業中のケガ
- ・PTA球技大会の練習中のケガ
- ・PTA行事に参加するための往復途上のケガ

②保険金の請求は面倒がらずに

医療費の無料化が進み、市町村によって違いはあるものの窓口での支払いの必要がなくなってきています。しかし、本制度は、あくまで保険制度で、医療費とは別に支払われるものなので、面倒がらずに請求手続きをしてください。

③賠償事故の不明な点は問い合わせを

学童、PTA会員の賠償事故の補償については、いろいろなケースがありますので、お問い合わせください。

※自転車運転中、停車中の車につかかってキズをつけた。

・学校の休み時間中に友達とぶつけていて教室のガラスを割った。
 ・PTAソフトボール大会中、打球が校舎の窓ガラスを割った

④事故報告のしるし

○傷害事故、賠償事故の報告については、ケガをした日・事故が発生

した日が基準日となります。
 ○「事故報告書」の住所や氏名の「フリガナ」を必ずご記入ください。

⑤他の保険に加入している場合

○傷害事故については、加入している保険会社からそれぞれに保険金が支払われますので、本会にも忘れず請求してください。

○賠償事故については、他の賠償責任保険に加入している場合は、各保険で損害賠償を按分して支払うこととなります。

したがって、賠償事故については、他の賠償責任保険契約の有無についての確認をお願いしています。

編集後記

去る六月十七日に、第二十七回小・中学校PTA懇談会を開催しました。震災後のPTAの現状やスマホ、SNS等についての課題等について熱心に協議をして頂きました。それぞれの方が、意見を出し合い、各地や各学校での取り組み・様子等を話され貴重な情報交換の場となりました。各地区から集まった方々で小グループをつくり、自由に話し合いながら研修を深めた。そして、得た情報を持ち帰り、今後の活動に生かしていくこととしました。今年度も県Pでは、九月の母親代表者懇談会、そして、十月の県P研究大会南相馬大会と研修の機会を設けております。また、八月には、日P研究大会兵庫大会、九月には東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会もあります。各会員の皆さまの積極的な参加を期待しております。よろしくお願いたします。

http://www.fukushimaken-pta.jp
 ※年間三回発行される「PTAふくしま」もホームページで見ることが出来ます。